

# さくらの里

## ピカピカの一年生を迎え 蚕桑小学校入学式



桑小学校で入学式が行われ、18名の児童が入学した。蚕桑小学校は新生児が102名に、全校児童が180名を迎え、卒業生も1年生に「大きな声であいさつをする」と「返事をしつかりすること」「一生懸命がんばること」「三つをできるよること」の三つを話し、うれしかった。入学児童は担任の先生に名前を呼ばれ、さっそく大きな声で返事をしていた。また、8日の通学班でも10番連絡所の子どもらが集団時に「お楽しみ会」の準備ができていた。児童代表として小澤爽太郎よりセンターが渡された。1年生の子どもたちは、昨日、24日、朝早くから学校に集合し、入学式に備えていた。児童代表として小澤爽太郎よりセンターが渡された。1年生の子どもたちは、昨日、24日、朝早くから学校に集合し、入学式に備えていた。



## 足早に

## ～桜便り～

→見事に咲いた奨学桜。  
樹齢約100年のソメイヨシノ。



↑山際の十二の桜。通称「種まき桜」樹齢400年の老木が今年も花を咲かせました。

←釜ノ越桜。樹齢800年と言われるエドヒガン。朝日連峰につながる葉山の残雪をバックに。

ごあいさつ

## 蚕桑地区桜の里づくり推進委員会

会長 金田 捷夫

例年になく暖冬で春の訪れが早く、サクラ満開の時期を迎えました。蚕桑地区の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、蚕桑地区コミュニティセンターも発足から1年。皆様方からの御協力により順調にその運営がなされており、すことに対し、厚くお礼申し上げます。

蚕桑地区でも、人口の減少や少子高齢化が進み、これらに伴う各組織の担い手不足、耕作放棄地の増加、災害への対応や防災への体制づくりなどの地域課題が数多く指摘されております。

そんな中、町報「広報しらか」2月号に載った、昨年行われた国税調査の結果を見て、私は大きなショックを受けました。蚕桑地区の人口の減少率があまりにも大きかったからです。

5年前と比べて311人減（減少率9.8%）の2857人、町全体の減少率に比べ1.5倍も人口が減っていたのです。

まだまだ詳しく調べてみる必要がありますが、将来、町内あるいは子供会が存続できるのか、中学校が統合されたか、小学校はどうなるのか、という大きな問題になっていくことが懸念されます。是非とも皆で茶飲み話に、あるいは会合で話題にして話し合っていたいただきたいと思っております。

コミュニティセンターとしては、これから地域課題に対応するため、平成8年9月に作られた「桜の里事業計画」をベースに、新しい地域づくり計画を検討することになります。その時は、地域の方々から特段の御協力をいただくかなければなりませんので今からお願いしておきます。

蚕桑地区コミュニティセンターは蚕桑地区皆のものです。是非共コミュニティセンターに足を運んでいただき、いつも思っていることや地域のことを話題に、話をしに来ていただきますようお願いいたします。

### パトロール出発式

4月7日（木）、コミセンの防犯・防災部会（加藤晃一部会長）の企画で、春の交通安全運動と小学校の入学式に合わせ、交通安全を呼びかける広報活動を行いました。

パトカー2台、町の青パト車、コミセン車、丸ト建設株式会社様、山形新聞白鷹専売所様の青パト車の合計6台が2班に分かれ、7時30分から約1時蚕桑地区内を巡回しました。



### 湧泉パーク水車設置

例年より早い4月2日に、湧泉パーク管理委員会（新野孝一代表）で水車設置を行いました。また、金子センター長から池の藻を取っていたいただきました。屋外灯の鉄柱のサビ取りと、塗装を業者に委託し、4月16日に完成しました。地域づくり部会にも協力を願い、公園の環境整備に努めます。



### 薬師桜で除草作業

4月2日（土）、薬師桜周辺住民による除草と枯れ枝切り、薬剤と竹炭散布が行われました。これは例年になく早い雪解けによるもので、観光に気持ち良く桜を見ていただきたいと11名総出で、いねいに作業がなされました。



一緒にコミセン活動を楽しもう!

# 参加者募集

お問い合わせ：蚕桑コミセン 電話：85-2153

## ガーデニング教室

バイキング形式で好きなお花を選んで、春らしいすてきな寄せ植えを作りましょう。

◎日時 5月13日(金) 午前10時

◎講師 花ショップポピー

齋藤 憲昭氏

◎持ち物 手袋、移植ベラ、

自宅にある鉢(直径30センチ位)

※1人1鉢です。

◎材料代 選んだ花苗の金額(各自でお支払い)

◎申込締切 5月9日(月)



## 活き粋き学級 開級式

活き粋き学級は、高齢者の学級です。「今日行く、今日用」が元気の秘訣。みんなががまの湯まで小旅行に出かけましょう。

◎日時 5月27日(金) 午前8時30分バス出発

◎内容 がまの湯 椿まつり

◎場所 ・劇団「夢の旅」

◎参加費 がまの湯(いいで旅館)

3500円 (お弁当・飲み物・入浴券付き)

◎定員 20名

◎締切り 5月16日(月)

◎送迎 ご自宅近くまで、バスで送迎します。

※どなたでも参加できますので、ぜひいらして下さい。



## ★他団体からのお知らせ★

### 木の駅プロジェクト

愛知県から講師をお呼びし、未来につながる森林管理をテーマに公演会を行います。山をお持ちの方、山に興味のある方、どなたでも参加できますのでぜひお越しください。

◎日時 5月27日(金)18:00~講演会  
5月28日(土) 8:30~現場研修

◎講師 穂の国森林探偵事務所  
理事長 高橋 啓氏

◎場所 あゆ~む  
(白鷹町文化交流センター)

◎受講料 無料  
※28日(土)は事前予約が必要です。

◎主催 しらたか木の駅実行委員会  
問い合わせ：木の駅事務所 87-1546

## マルベリーズ ~ダンスメンバー募集~

蚕桑在住メンバー中心に結成された「マルベリーズ」。

(※マルベリー=桑の実)ダンスを楽しみ、ダンスで地域を元気にすることを目指しのびり活動しています。飯豊町とのコラボイベント、ステージ発表等も行い、多世代、地域間交流を楽しんでいます。

あゆ~むにて、水曜19:30~活動中!  
詳細はお問い合わせください。

代表：大瀧陽子



地域あこし協力隊 石井紀子

桜が満開でとても気持ちのいい季節になりました。お花見がてらにお寺の彫刻を楽しんではいかがでしょう。面白い形の彫刻を紹介するのでぜひ現地で探してみてください。



まずは高玉の瑞龍院観音堂（明治6年）。新潟の宮大工有磯周斎と脇棟梁の菅原鹿蔵が手掛けました。お堂の正面にキリンがいます。キリンビールと同じキリンなのでお酒好きの方は分かるはず。もう一体、聖なる空気を吐き出し、龍のような姿をしたイキという聖獣がいます。彫刻でも口から息を吐いています。

瑞龍院観音堂を作った脇棟梁菅原鹿蔵の弟子、大場吉太郎が安楽院本堂内の欄間彫刻を手掛けています。欄間に彫られた内容が分からないのですが、天女が落ちてくる子供を天衣で受け止めようとしています（写真）。なんだか不思議な彫刻です。この天女の欄間の裏側に吉太郎の名前が彫ってあるので、こちらもご覧ください。

山柳

蚕桑交柳社作品

課題 「芽」  
大器晚成やがて芽出す遅い春  
小春日に気分爽やかはばたく芽  
希望の芽未来を担うランドセル

課題 「期待」

身の丈を期待時々超えたがる  
Uターン孫百姓を継ぐと言う  
期待など無縁となつて気楽な身

ユーモア句

芽を出すとすぐに食われる露の臺  
期待したポーナス袋吹けば飛ぶ

耕心 笑柳 皐月

一杯 案柳 千歩

四蹴 南柳

熊出没注意！

4月14日(木)、県道長井白鷹線の笠松口マン館周辺で小熊2頭が目撃されました。周辺の方は気をつけていただき、新たな目撃があった場合は白鷹西駐在所までご連絡下さい。

今後の予定

- 4/25(月) 蚕桑地区桜の里づくり 推進委員会理事会
- 4/28(木) 蚕桑地区桜の里づくり 推進委員会評議員会
- 5/10(火) 分館長・書記合同会議
- 5/13(金) ガーデニング教室
- 5/14(土) こぐわキッズ広場
- ◎毎週木曜日 青色パト車運行

あとがき

桜今年、暖冬の影響で梅、桃、水仙と花々が一気に咲き、春だなくと心ウキウキ気分でした。雪の少ない冬と初めに早い桜の開花は、白鷹に来て初めてな経験でした。桜は、白鷹にやがて元気に開花し、雪の少ない冬と専門部会の方々と考えていきます。専ら、蚕桑センターの活動や事業を理事やをまた、蚕桑センターの活動や事業を理事やをご家族さんで読んでいただき、感想や要望をお寄せいただき、感謝の言葉を届けてくださる地域の方々に出向き、新しい話題をお届けできるように頑張ります。

高橋英樹巡査長が 着任されました



和田巡査に代わって児童警察署から着任されました。白鷹町勤務は初めて、中山町出身です。蚕桑地区の安全を守ることを第一に勤務致します。皆様のご協力よろしくお願致します。

◆休館のお知らせ◆

5月2日(月)は、休館致します。ご理解とご協力をお願い致します。